

夢をかなえるために 学んだことを 自分の言葉で 語る子どもを育てる

学校教育目標

「夢をもち たくましく！」

心を磨き
知性を高め
身体を鍛え
共に生きん北広島市立
東部中学校

ひろがり

困難な状況の中、適切な判断と行動 ～ 精一杯の歌声に拍手 ～

東部中学校長 北村 安雄

早いもので、令和2年がまもなく幕を閉じようとしております。

二学期のはじめには、新型コロナウイルスとの共存を図りながら、新しい生活様式のもと、徐々に東部中学校の教育活動を再開し、生徒の笑顔と輝きを取り戻したいと願っておりましたが、残念ながら、二学期も終始、新型コロナウイルスに翻弄された4ヶ月となりました。

12月に延期していた合唱コンクールも、感染が拡大局面にあることから、急遽、コンクールは取りやめ、一クラスずつ、体育館に入って、距離をとり、全員がマスクをつけて、クラスの合唱を録画し、映像で交流する形に切り替えました。

練習も十分にできず、マスクで声も響かせられず、表情も見せられないことから、不完全燃焼だったに違いありませんが、生徒たちは、緊張感を持って、精一杯の歌声を観客のいない体育館に響かせてくれました。

3年生の感想を読ませていただきましたが、こんな状況であるにもかかわらず、多くの生徒が、映像での交流会という場をつくってくれたことへの感謝を述べており、涙が出そうなほど嬉しく、そして、切ない気持ちになりました。

よい合唱をつくるためには、学級全員の力が必要です。仲間がいることとみんなで歌えることの喜びを感じてほしい。心を合わせて自分たちの曲を歌い上げ、中学校時代のかげがえのない思い出にしてほしい。コロナ禍だからこそ、希望の灯火である歌声を、学校中に響きわたらせてほしい。そうした私たち教職員の願いを生徒たちは、十分にくみ取って合唱をつくり上げてくれました。

二学期間の生徒の様子を見ておりますと、様々な制約や予定変更の中でも、状況を適切に把握し、今できることに精一杯取り組んでいる姿が印象に残っています。

感染は拡大し、医療や経済の状況は困窮しておりますが、これまでと同様に、一人一人が謙虚にこの状況を受けとめ、適切な行動をしてくれることを願っております。

新しく迎える年が、健康や安全安心を取り戻し、希望に満ちたものになることを心から願っております。

